

交通死亡事故多発中！

～高速道路では全席シートベルトの着用を～

中日本高速道路株式会社が管理する高速道路において、2015年1月1日から7月29日まで
 に36件の交通死亡事故が発生し、38人の尊い命が失われ、過去5年間で最多となっている状況
 です（図1）。

事故形態別では「自動二輪」、「単独事故」による死亡事故が、昨年より3倍以上と大幅に増加し
 （図2）、時間帯別では、深夜から早朝にかけて発生した死亡事故が、全体の約半数を占めていま
 す。（図3）

運転をされる際にはすべての席でシートベルトを着用し、十分な車間距離をとって安全な速度で
 ご利用いただくとともに、十分な休憩をとっていただくようお願いします。また、事故や故障時
 にはできるだけ路肩に停止してハザードランプ、発炎筒、停止表示器材で後続車に合図をするととも
 にガードレールの外など安全な場所に避難していただくようお願いします。

1. 交通死亡事故の発生状況

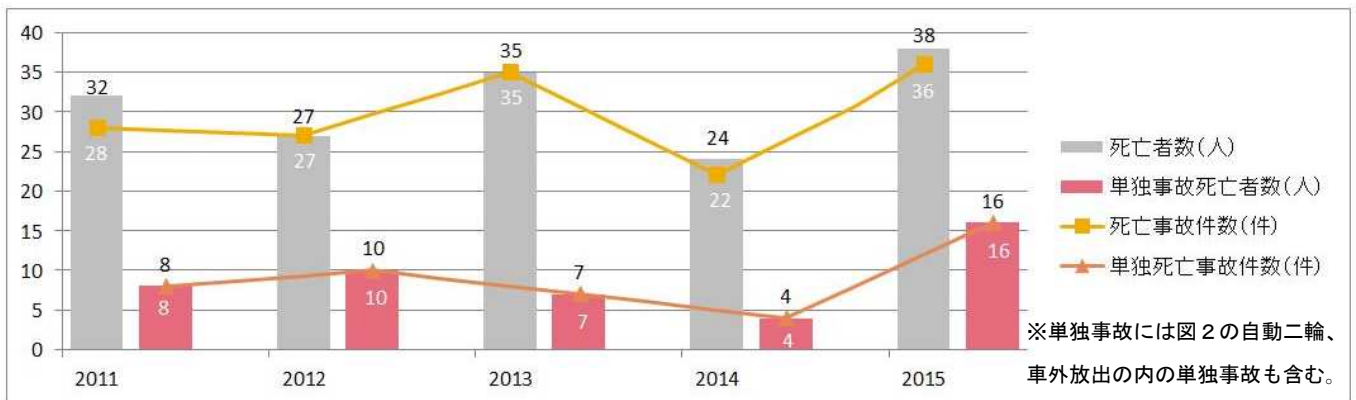


図1 交通死亡事故の経年推移（中日本高速道路調べ・各年1月1日から7月29日）

2. 2015年 交通死亡事故の特徴・傾向

■事故形態別

自動二輪車・単独事故が多く、
 昨年の3倍以上。

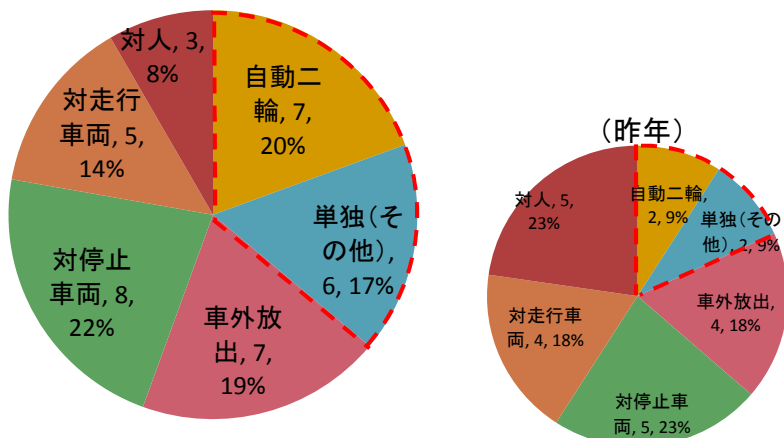


図2 事故形態別死亡事故件数

■時間帯別

深夜から早朝にかけて事故が多く、
 全体の約半数。

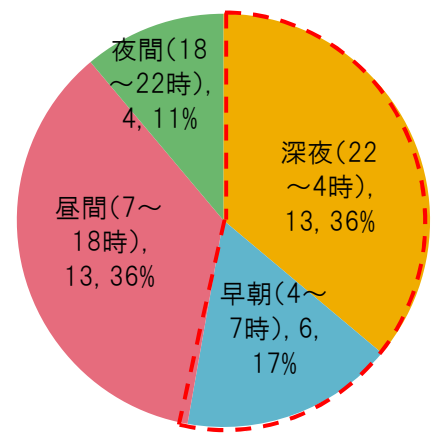


図3 時間帯別死亡事故件数